

ISSN 0916—9717

福井県環境センター年報

第 22 卷

1 9 9 2

(平成4年度)

Annual Report
of
The Environmental Research Center
of Fukui Prefecture
vol. 22
1992

福井県環境センター

は　じ　め　に

この年報は、当センターの平成4年度における業務内容と調査研究の概要を取りまとめたものですが、ご高覧いただき、ご指導ご助言を賜れば幸いに思います。

この11月には「環境基本法」が公布施行され、従来の公害対策のみならず、生態系を含めた環境への負荷低減、地球規模での環境保全など幅広い環境対策の枠組みが決められており、今後、具体的な対応がなされようとしています。

また、本年には、公共用水域等の環境基準、工場事業場の排水基準項目の大幅な追加、海域における窒素、リンの環境基準や排水基準の設定、悪臭物質の規制基準項目が大幅に追加されるなど、次年度からの本格的な監視測定が必要となっています。

本県における環境の状況は、大気、水質関係等とともに環境基準がおおむね達成されており、全般的に良好な状態を保っていますが、他方では、湖沼や都市中小河川の水質汚濁、地下水の有害物質汚染、自動車の交通騒音等の地域的な課題を抱えています。

当センターでは、これらの大気や水質等の環境監視測定を着実に継続的に実施する一方、新たな科学的知見の集積を図り、酸性雨の影響、二酸化炭素の排出と同化、湖沼の富栄養化現象、河川等の汚濁解析、農薬の流出評価、有害化学物質の挙動、環境の地域特性評価等の調査研究にも鋭意取り組んでいるところです。

今後とも、多様化する地域環境、地球環境問題に対応するため、環境の常時監視や新たな環境保全対策を総合的に行うとともに、これらの調査研究を機能的に推進するほか、環境情報ネットワーク「みどりネット」や移動環境教室等による環境学習の充実に努め「より快適で住みよい環境づくり」を進めていきたいと考えます。

なにとぞ、当センターに対するご理解と、一層のご指導ご支援を賜りますようお願いいたします。

平成5年12月

福井県環境センター
所長 郡 寄 隆 次

目 次

1. 運営概要

1 環境センターの概要	1
1.1 沿革	1
1.2 機構	1
1.3 業務内容	2
1.4 人 員	3
1.5 業務分担	3
1.6 人事記録	4
1.7 予 算	4
1.8 備品整備状況	5
1.9 研修、会議および学会	6
2 業務内容	8
2.1 大気汚染防止対策関係	8
2.1.1 大気汚染常時監視観測局における測定	8
2.1.2 二酸化鉛法による硫黄酸化物濃度調査	10
2.1.3 TGSろ紙法による窒素酸化物（二酸化窒素）濃度調査	10
2.1.4 降下ばいじん調査	10
2.1.5 酸性雨調査	12
2.1.6 敦賀地区植物環境調査	13
2.1.7 煙道排ガス調査	13
2.1.8 燃料中の硫黄分調査	13
2.2 水質汚濁防止対策関係	14
2.2.1 公共用水域常時監視調査	14
2.2.2 工場・事業場排水監視調査	14
2.2.3 化学物質環境汚染調査	14
2.2.4 工場立入補完監視調査	14
2.2.5 公共用水域補完調査（ゴルフ場等の農業調査）	15
2.2.6 地下水質監視調査	15
2.2.7 湖沼水質暫定基準見直し調査	15
2.2.8 水生生物汚濁影響調査	15
2.3 騒音、振動、自動車交通公害対策関係	16
2.3.1 自動車交通公害調査	16
2.3.2 騒音、振動調査	16
2.4 悪臭防止対策関係	16

2. 調査研究報告

1 調査研究

1. 環境関連情報による地域環境特性の評価について（第7報）	17
－環境関連データによる大気汚染物質の評価－	
2. 環境関連情報による地域環境特性の評価について（第8報）	28
－環境関連データによる騒音の評価－	
3. コンピューター通信による環境情報の提供	34
－環境情報ネットワークシステム「みどりネット」の構築－	
4. 福井県における地球環境問題の現状（第1報）	41
－二酸化炭素の排出と同化に関する試算－	
5. 福井県における酸性雨と生態系の実態について	48
－林内雨調査結果－	
6. 福井県の汽水湖における湖水面の変動関数について	56
7. 湖沼水質シミュレーションモデルの開発	61
8. 鯖川流域における汚濁負荷量	72
9. 福井県の三方湖と流入河川の農業調査	78

2 ノート

1. 石炭火力発電所周辺環境調査（その1）	85
－大気中水銀濃度について－	
2. 福井県における光化学オキシダントの移流について	91
3. 低沸点有機塩素化合物の発生源周辺調査について	96
4. 三方五湖と北潟湖の水質とプランクトン相の変遷	102
－1986年と1991年の比較－	

3. 学会および誌上発表抄録

4. 運営資料

1 大気汚染常時監視調査関係資料	115
2 大気汚染調査関係資料	135
3 水質汚濁調査関係資料	149
4 環境センターの主な業務の変遷	165